

西南学院大学 図書館報

No. 33

1966年12月15日発行

福岡市西新町

西南学院大学図書館

大学図書館施設計画要項なる

—— 文部省大学図書館施設研究会議 ——

我が国の大学図書館が、組織や運営等の面だけでなく、施設や設備の面でもまだまだ立遅れていることから、その整備改善を図ろうと、文部大臣の諮問を受けて大学図書館の施設のあり方が検討されてきたのであるが、本年3月その結論に達し、「大学図書館施設計画要項」として文部大臣へ答申がなされるに至った。これまで大学図書館の建築については、ほとんど基準らしいものが無かったので、今回のこの要項はそのよりどころを与えるものとして大変意義の深いものである。要項の主な点を拾ってみると、

1. 大学図書館を機能上から、総合図書館・学習図書館・研究図書館・保存図書館の4種類に分けてそのあり方を検討していること。
2. 大学図書館の資料の管理方式として、集中管理方式と分散管理方式のそれぞれの特色とその配慮すべき点などを示していること。
3. 全学の図書館活動の機能的一体化のために必要な全体計画立案に関する指針があげられ、解説されていること。
4. 施設計画の具体的な要点が示されていることなどがあげられる。あたかも本学において新図書館の建築計画が進められている折でもあり、この施設計画要項は極めて注目されるのである。

告知板

○ 卒論製本代金の納入について 卒業論文は製本の上図書館に保存されることになっています。従って、卒業論文の提出に際しては、卒論製本代金を経理課に納入し、その領収書を添えて論文を教務課に提出するようにしてください。卒論製本代金は、次のとおりです。

商学部・経済学部学生 1人につき 180円

文学部英文学科学生 1人につき 60円

○ 冬休長期貸出 12月17日(土)から 1月14日(土)まで2冊の長期貸出を行います。

○ 冬休中の休館などについて

12月26日(月) 開館 8.30~17.00

27日(火) 〃 8.30~13.00

28日(水)~1月5日(木) 休館

1月6日(金)・7日(土) 開館 8.30~17.00

○ ゼロックスによる複写サービス このほど備えつけられたゼロックスによる文献複写を始めました。料金はB4版以下のようなサイズでも1枚25円です。ただし当分の間の暫定料金とします。

図書館の目録の整備化進む!

図書館の目録が使いにくい、不便だとの声がこれまで屢々ありましたので、その改善策を検討し、今その整備を進めています。まず分類目録についてですが、本館ではこれまで便宜上書架目録の形式を採用していましたため、同一分類の図書カードが何カ所かに分れてしまい、利用者には大変分りにくい目録となっていたようです。そこで、今回完全な分類順に編成がえしました。分類の見出しも細かく出し見易くして一応面目を一新したつもりです。次に著者名目録は、現在完全なアルファベット順ではなく、一部漢字の字画順を加味した方式なので、之も完全なアルファベット順へ切替えを急いでおります。不便をおかけしますが暫らくお待ちください。

アメリカの図書館

—— 台信教授に伺う ——

とき 4 1. 12. 1

ところ 学術研究所

聞く者 図書館 山下・杉本
伊藤・坂口

—— 私ども図書館職員は色々な機会に、アメリカでは図書館が非常に発達し、その機構や組織が完備していて、すぐれたサービス活動が行われていることを聞きます。そこで以前から、一度詳しく向うの事情を知る機会を持ちたいと願っていたのですが、今日は台信先生のご好意で、留学を終えられてまだ間もない先生のお話を伺うことができることになりました。

先生、今日はお疲れのところを本当に有難うございます。

で、先ず先生から留学されました大学やそこで図書館の状況について、あらましを説明していただき、あとで私どもから色々とお尋ねするという形で進めたいと存じます。宜しく願いいたします。

台信 私が留学したのはワシントン D・C・でそこには私立大学が6校ありまして、そのうちの一つ The Catholic University of America というところですよ。ご承知のようにワシントンは人口82万人にすぎませんが、アメリカの首府として全ての設備がよく整っています。有名な国会図書館があって、世界一といわれる1,300万冊の蔵書があり、全世界のすぐれた文献が網羅されています。中でも東洋文庫には、日本の浮世絵をはじめ、日本に無い？貴重な資料が集められている一方、文芸春秋・中央公論・電話番号簿・汽車時刻表に至るまで数十万冊が揃っていて、全くそのすばらしさに驚きました。向うでフィルダー先生から紹介していただいたのですが、国会図書館の職員に榎谷さんという西南の卒業生(60期)がおられて、便宜をはかっていただきました。

Catholic University は蔵書70万冊、学部・教室の分館が13あります。中央館は文科系の図書が多く、書庫には個人用の席があって、それに自分の読みかけの本をしまっておくことのできるロッカーがついています。玄関のところに、

“It is our duty to prepare materials for present and future generations.” (現在及び将来の世代のために資料を備えるのは我々の義務である)と書いてあって、図書館サービスの熱意がこめられているのに感動を覚えました。又ほかの図書館の蔵書票に“Collection of books is true university.” (図書の収集こそ真の大学)という、カーライルの言葉を見たことがあります。

(蔵書にはスタンプだけではなく、蔵書票を見返しに貼ってあるのが多かったと思います)専門的な文献が完備しているだけでなく、それを提供するサービス活動が行届いていて、さすがだと感心させられたものです。1日24時間開いている室もあり、勉強したい学生をいつでも迎え入れる態勢を示していると思いました。もちろん自習室みたいなところでしたが。

—— その部屋には本はおいてあるのですか。

台信 本はありません。職員もいないのです。ただいつでもいけば勉強できるようになっているのです。普通の閲覧室は午後11時まででした。そして開館時間も長いが利用者も非常に多いのです。ただ土曜と日曜は休館していました。

—— 図書館が非常によく発達し利用されているということの背後にはアメリカの大学の教授法つまりいわゆる teaching with books の教育が大きな力となっていると聞きますが、向うの授業と図書館との結びつきについて何かお感じになったことがありましたら……。

台信 リザーブ・ブックの制度です。向うではリザーブ・ブックの制度が大変発達していて、学生は授業に出るにはこれを利用せざるをえない仕組になっているのです。オープン閲覧室の中に別置して並べてありましたが、本に色テープが貼ってあり、一夜貸出とか週末貸出とかの区別が色別に一目で分るようにしてありました。

——レファレンス・ルームについてはいかがですか。

台信 辞書・百科事典をはじめとする参考図書類が並べてあり、そこに参考調査に応ずる係員がいるのですが、係員が一つ一つ親切に世話をやいてくれたのが印象に残っています。面白いのは、レファレンス・ルームの中にイヤホンでレコードを聞く設備があるのです。L.L.とは別にあるのです。

——するとレコードもオープンになっているのでしょうか。

台信 ええそうです。その部屋の中においでなのです。そして個人で好きなレコードを聞けるのです。

——閲覧室のことですが、主題別に分れているところが多いと聞きますが、そうでしょうか。

台信 Catholic University では西南と同じように主題別でした。そしてそれぞれの部屋に専門の係員が常駐していました。

——係員は何かユニホームを着ていますか。

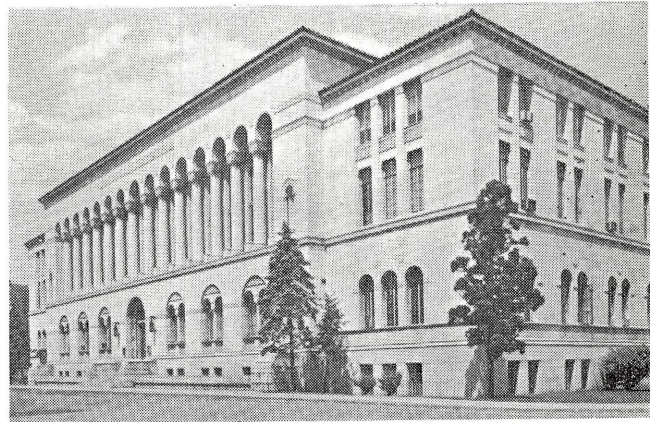
台信 いや別に着てなかったと思います。

——利用の手続きはどうでしょうか。オープンの閲覧室の出入りに何か厳重な手続きがいりませんでしたでしょうか。

台信 余り厳重ではなかったようです。ロッカー設備はなく、荷物は持ったまま自由に入っていました。ただ、国会図書館では退館のときに警官がいて荷物検査をしますね。私のいた大学では図書の貸出しにプラスチック製の登録券を各自持っていて、それに自分の名前が浮彫りになっているので、スリッパに書名を書いてこれを上からこすると、一々サインしなくてすむようになっていました。延滞すると延滞金1日10セントを徴収されます。

——しかし出入りが自由だと本の亡失が多くなるように思われますが。

台信 ええ実はその通りで、その大学でも本のなくなるのが近頃非常に多くなったので、本に磁性のものをつけて、持って出るときブザーが鳴るような工夫を考えているという話でした。でも、一般に簡単な手続きで自由に借出せる制度になっています。驚いたことには、たまたま下宿の近くに来た公立図書館のブック・モバイルに行き合わせたら、すぐその場で貸出の便宜を計ってくれましたよ。何の証明もいらないのです。



(カトリック大学中央図書館)

——全く便利なのに感心させられます。図書に対する考え方が根本的に違っているからでしょうね。ところで、最後に伺いたいのは、ご承知のようにこの図書館が既に手狭となりましたために、近く新しい図書館が建築されることとなり、建築計画委員会の手でその準備が進められているのですが、向うの図書館を利用されたご経験から、このような設備を新館に盛り込んで欲しいというようなご意見でもありましたらお願いしたいと存じます。

台信 そうですね。先ず第一に、夜遅くまで自由に利用できる部屋が欲しいですね。それに、1階はなるべく広々としたそして自由に出入りできる、親しみ易い雰囲気のある階にしていきたいと思います。映画やレコード・コンサート、展示など行える会場も欲しいし、それに書庫のキャレルがあれば便利です。とにかく図書館が大学の文化活動の中心になってほしいと思います。

—— 実は私どもも能率的なサービス・カウンターの設備や、ブックトラックを運搬するエレベーターの設備などを備えていただくようお願いしているのです。

台信 それはいいですね。向うでは学生も自由に利用できるエレベーターがありましたよ。

—— それではこの辺りで終らせていただきたいと存じます。今日は大変有益な話をお伺いすることができて私どもに非常に勉強になりました。どうも有難うございました。

■ ニュース

< 図書館委員会 >

41.11.17 昭和42年度図書館予算申請について、卒業論文製本代金について、長期図書未返却者の処置について審議。

< 全学総合目録事務打合せ >

41.10.13 本館・神学部分館・短大分館・学研の各担当者が集まり、全学総合目録を作成してゆく上での事務打合せが行われた。

< 図書館協議会 > < 研修 >

文部省大学図書館職員講習 41.10.25~28 (於広島大学) 逐次刊行物の整理方法及び総合目録について研修。坂口出席。

全国図書館大会 41.10.19~21 (於東京都)
坂本館長出席。

私大西地区部会 41.10.21 (於広島商大)
「研究者の大学図書館利用の実態とそのニーズについて」その他の研究発表等が行われた。
杉本係長出席。

■ マイクロ・カード読書機の購入

かねて研究上の必要から設置の要望の多かったマイクロ・カード読書機とマイクロ・プリント読書機各1台がこのほど図書館に購入され、最近急激に増加しつつあるマイクロ文献資料の利用に役立つこととなった。

■ 私大助成金の一部削減について

本年度の私大助成金について、文部省から予算の補正のため補助予定額の5%を留保することとなった旨の通知がありました。本学の負担金が若干増加することとはなりますが、購入予定の研究設備その他には何らの変更や影響もありません。

■ 田口司書のバプテスマ関係書誌の作成

神学部図書館の田口司書がここ数年にわたって作成してきた「バプテスマ関係書誌(年代順)」が一応の完成をみ、上・下2冊にまとめられて刊行され、本館にも寄贈を受けた。

■ 寄贈図書 (41年10月~11月)

- 山下宇一教授より 商家秘録(明和7年)
- 八田薫教授より 愛媛経済総観
- L・G・フィルダー教授より 英和辞典
- 京都商工会議所より 京都における最近の賃金指標
- 国際電信電話KKより 国際通信業務便覧他3冊
- 日本銀行統計局より 中小企業経営分析昭和40年版
- 福岡県より 福岡県の工業
- 食糧庁より 米穀の集荷配給資料調査結果表
- 広田弘毅伝刊行会より 広田弘毅
- 東京都立日比谷図書館より 「江戸地誌」の目録
- 聖心女子大学より 公会議と教会一致
- 四国学院大学より 小アメリカ文学史

わたし
妻より蔵書が好きと女房やき。昌坊々

とりわけ日本人は自分の蔵書に甚だ大きな愛着と関心を持ち、蔵書印を捺したり、買入れ年月日などを書き込んでいるような、愛書家が多いようである。

皆さんが利用されている本学図書館の蔵書も、以前は大きな朱肉の蔵書印を、最近では、それに代るスタンプの受入登録印が捺印されているが、その所有を示すために書物に印を捺すことは非常に古くからあって、故実

家として有名な栗原信充の「先進繡像玉石雑誌」の中に聖武天皇の天平12年(西暦740年)の蔵書にこのような印が捺されていることが明らかかなりしてある。

ここでは皆さんに、図書館で一般に使用されている用語について、少し説明を試みようと思う。例えば図書館のカード目録を利用する場合に、先ず、カードに記入されている事柄のうち、目じるし、目あてとなる最初に出てくる姓名、名称および語句などをさがすことによって、目ざす図書が図書館に在庫しているか

どうかということを調査する大切な役割をなすこの目じるし、目あてとなるものを標目と呼んでいる。従ってこの標目は、その図書の著者名、団体名であり、又書名である場合もあるが、この標目によって、目録カードの上で同一関係のものを一緒にまとめ、各図書資料を連絡させるのに役立っている

図書館での用語

その1

「日本目録規則」なるものを参考資料として、この標目をきめている。

時折、皆さんが数年前発行の古い本を、購入又は利用されようとして、館員より「今は絶版になっています」という回答がなされることがある。この絶版(out of print)ということは、厳密には、出版社が原版を廃棄することであるが、出版者自身の在庫がなくなってしまったので、通常の市場では、手にはいなくなったことをもいう。出版社が増刷の計画をもっており、一時的に在庫切れになったものに対しては、絶版とはいわない。(伊藤)